

司書養成課程の改善

科目名・単位数	ねらい	内容
必修科目		
生涯学習概論 [1単位]	生涯学習及び社会教育の本質について理解を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の意義 ・生涯学習と家庭教育、学校教育、社会教育 ・生涯学習関連施策の動向 ・社会教育の意義 ・社会教育の内容・方法・形態 ・社会教育指導者 ・社会教育施設の概要 ・学習情報提供と学習相談の意義
図書館概論 [2単位]	図書館の意義、図書館の種類、図書館の機能・課題・動向、図書館政策、関係法規、図書館と類縁機関等との関係について解説する。	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の意義（生涯学習と図書館、社会の変化と図書館を含む） ・図書館の種類 ・図書館の機能と課題（館種別） ・図書館の動向（図書館の現状と歴史、情報技術の図書館への影響、外国の図書館事情を含む） ・図書館行政（図書館政策、図書館法、社会教育法、地方自治法、著作権法等を含む） ・他の図書館及び類縁機関等との関係（図書館相互協力・ネットワークを含む） ・図書館の自由、図書館関係団体等
図書館経営論 [1単位]	生涯学習社会における図書館という視点を重視して、図書館経営にかかわる組織、管理・運営、各種計画について解説する。	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館経営の在り方 ・自治体行政と図書館（他部局等との関係を含む） ・図書館の組織と管理・運営 ・図書館長・館員の責務及び養成・研修（ボランティアの養成・活用を含む） ・図書館サービス計画の意義と方法（各種調査、広報を含む） ・図書館の整備計画と施設、設備、備品 ・図書館業務・サービスの評価 ・情報ネットワーク形成の意義と方法（類縁機関等との連携を含む）
図書館サービス論 [2単位]	利用者と直接関わる図書館サービスの意義、特質、方法について解説するとともに各種サービスの特質を明らかにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館サービスの意義と種類（貸出、読書案内、情報サービス、利用者援助、教育・文化活動など） ・利用者理解と利用対象別サービス（他文化サービスを含む） ・図書館サービスと著作権 ・図書館サービスとボランティア ・図書館サービスの協力（他の図書館、関連機関との連携・協力等）

<p>情報サービス概説 [2 単位]</p>	<p>図書館における情報サービスの意義を明らかにし、レファレンスサービス、情報検索サービス等について総合的に解説する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報サービス一般の広がりや図書館が行う情報サービスの位置付け ・ 図書館における情報サービスの意義と種類（レファレンスサービス、レフェラルサービス、カレントアウェアネスサービス等） ・ 情報及び情報探索行動についての基本的理解 ・ レファレンスプロセス（レファレンス質問の受付から回答まで、マニュアル検索とコンピュータ検索を含む） ・ 情報検索サービスの方法・プロセス・評価 ・ 主要な参考図書、データベースの解説と評価 ・ 参考図書及びその他の情報源の組織（二次資料の作成にも触れる） ・ 各種情報源の特質と利用法
<p>レファレンスサービス演習 [1 単位]</p>	<p>参考図書その他の情報源の利用や作成、レファレンス質問の回答処理の演習を通して、実践的な能力の養成を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ レファレンスサービスの方法と実際・参考図書評価の実際・レファレンスコレクション構築の実際・インフォメーションファイルの編成の実際・二次資料作成の実際・レファレンスインタビュー・質問回答の実際
<p>情報検索演習 [1 単位]</p>	<p>データベースの検索の演習を通して、実践的な能力の養成を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ データベース検索の実際（オンラインの他、オンディスクの演習も含む）
<p>図書館資料論 [2 単位]</p>	<p>図書館資料全般の特質を論じ、その出版と流通、選択、選書ツール、保存管理について解説する。新しいメディアの特質やその利用等についても触れる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報と資料、資料の種類とその特質（資料の歴史、一次・二次資料についても触れる） ・ 資料の出版と流通（外国事情にも触れる） ・ 蔵書構築の方針・評価（資料選択の基準を含む） ・ 選書ツールの利用法 ・ 資料の受入・除籍・保存・管理・（紙の劣化防止、共同保管等を含む） ・ 新しいメディアの収集、整理、利用等及び留意点
<p>専門資料論 [1 単位]</p>	<p>人文科学、社会科学、自然科学・技術の各分野における知識の構造と資料との関係についての理解を図るために、それぞれの分野の資料の特性とその分野を代表する資料について解説する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門分野の特性 ・ 主題文献の特性と種類 ・ 主要な一次・二次資料

<p>資料組織概説 [2 単位]</p>	<p>資料組織の意義・目的と方法、図書館資料の組織化について解説し、併せてコンピュータ目録について言及する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書誌コントロール・資料組織の意義、資料組織と利用者 ・ 目録の意義・機能・種別、目録規則の解説と適用（主題目録形成を含む） ・ 分類の意義、日本十進分類法（NDC）等の解説と適用 ・ 件名標目表の解説と適用 ・ コンピュータ目録の意義と構成、管理・運用（書誌ユーティリティの利用を含む） ・ 機械的処理の方法（情報処理機器の種類と概要を含む）
<p>資料組織演習 [2 単位]</p>	<p>資料組織の演習を通して、実践的な能力の養成を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目録記入・資料分類・件名目録作成の実際 ・ 書誌ユーティリティ利用の実際 ・ データの収集と編集、データの入力・加工
<p>児童サービス論 [1 単位]</p>	<p>児童を対象とする各種のサービス、児童室の運営、児童図書等について総合的に解説する。併せてヤングアダルトサービスについても解説する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童サービスの意義及びその企画・立案 ・ 児童室の運営 ・ 集会・展示サービス ・ 児童サービスの実際と技術（ストーリーテリング、読み聞かせ、ブックトーク等） ・ 児童図書の収集・整理、利用上の留意点 ・ 児童資料の特色と主要な資料の解説 ・ ヤングアダルトサービスの意義及びその企画・立案等 ・ 学校図書館等との連携・協力
<p>必修科目小計 18 単位</p>		
<p>選択科目</p>		
<p>図書及び図書館史 [1 単位]</p>	<p>図書の形態、印刷、普及、流通等に関し歴史的に概説し、併せて図書館の歴史的発展について解説する。</p>	
<p>資料特論 [1 単位]</p>	<p>郷土資料、行政資料、視聴覚資料などの各種資料の特質を論じ、その生産と流通、評価、選択・収集、利用等について解説する。</p>	
<p>コミュニケーション論 [1 単位]</p>	<p>インターパーソナルなコミュニケーションを中心に、現代におけるコミュニケーションの特性とその概要について解説する。</p>	

情報機器論 [1 単位]	各種情報機器の機能、種類、利用等について解説する。	
図書館特論 [1 単位]	図書館における今日的な諸課題について取り上げ解説する。	
選択科目小計 2 単位		
合計 2 0 単位		

学 芸 員 養 成 科 目 の 改 善

科目名・単位数	ね ら い	内 容
生涯学習概論 [1単位]	生涯学習及び社会教育の意義を理解し、学習活動を効果的に援助する方法等の理解を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の意義 ・生涯学習と家庭教育、学校教育、社会教育 ・生涯学習関連施策の動向 ・社会教育の意義 ・社会教育の内容・方法・形態 ・社会教育指導者 ・社会教育施設の概要 ・学習情報提供と学習相談の意義
博物館概論 [2単位]	博物館に関する基礎的知識の習得を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館の目的と機能 ・博物館の歴史 ・博物館の現状 ・博物館倫理 ・博物館関係法規 ・生涯学習と博物館
博物館経営論 [1単位]	博物館経営及び博物館における教育普及活動について理解を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館の行財政制度 ・ミュージアム・マネージメント ・博物館の職員及び施設・設備 ・博物館における教育普及活動の意義と方法
博物館資料論 [2単位]	博物館資料の収集、整理保管、展示等に関する理論や方法に関する知識・技術の習得を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館資料の収集 ・博物館資料の整理保管 ・博物館資料の保存 ・博物館資料の展示 ・博物館における調査研究活動の意義と方法
博物館情報論 [1単位]	博物館における情報の意義と活用方法について理解を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館における情報の意義 ・博物館における情報の提供と活用方法 ・博物館における情報機器
博物館実習 [3単位]	博物館における実習を通じ学芸員の業務の理解を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館資料の収集、整理保管、展示等についての博物館における実習
視聴覚教育メディア論 [1単位]	視聴覚教育メディアの意義と学習支援の方法について理解を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚教育の意義 ・視聴覚教育メディアの意義と種類 ・視聴覚教育メディアを活用した学習支援の方法
教育学概論 [1単位]	教育の本質及び目標について理解を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の本質及び目標 ・生涯発達と教育 ・教育制度 ・教育評価の目標と方法
合 計	12単位	

(備 考)

1. 博物館概論以下の4科目は、「博物館学」として統合して実施することができる。ただし、その単位数は、6単位を下らないものとする。
2. 博物館実習の単位数には、博物館実習に係る大学における事前及び事後の指導の1単位を含む。